

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2019年度事業計画

自 2019年9月1日 至 2020年8月31日

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする（定款第3条）。

これらの遂行のために、2019年度（2019/9/1～2020/8/31）に以下の事業を実施する。

1. 学術大会の開催

第24回学術大会

2019年9月28日（土）・29日（日）の2日間において、第24回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会（大会長：村岡 渡）を川崎市産業振興会館（神奈川県）において開催する。メインテーマは「進化する口腔顔面痛」で、多数のシンポジウム、特別講演、教育セミナー、リフレッシュコースや一般演題発表を予定している。

2. セミナーの開催（セミナー企画運営委員会）

1) Headache Academy for Dentists

【会期】2019年11月16日（土） 【会場】浦和ロイヤルパインズホテル
（第47回日本頭痛学会総会と共催）

2) 口腔顔面痛精神医学セミナー

【会期】2020年1月19日（日） 【会場】慶應義塾大学病院

3) 神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム

【会期】2020年3月8日（日） 【会場】慶應義塾大学病院大会議室
（日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会と共催）

4) 口腔顔面痛入門セミナー①

【会期】2019年11月～2020年3月頃 【会場】未定

5) 口腔顔面痛入門セミナー②

【会期】2020年4月～8月までの間のいずれか 【会場】未定

6) 口腔顔面痛ベーシックセミナー

【会期】2020年4月～8月頃 【会場】未定

7) 口腔顔面痛脳学習キャンプ in 信州

【会期】2020年8月頃 1泊2日間 【会場】松本歯科大学本館解剖実習室

3. 学会誌（学会誌編集委員会）

学会誌第11巻（2018年度）を2019年9月に発行する。学会誌第12巻（2019年度）を2019年

12月に発行する。論文投稿は随時受け付ける。

4. 専門資格

1) 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定（専門医等認定委員会）

口腔顔面痛専門医、指導医、認定医試験および専門医筆記試験を2020年5月頃に東京都において実施する。

口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の更新申請を受け付け、審査のうえ認定する。

研修施設の申請・更新申請を随時受け付け、審査のうえ認定する。

2) からだ・運動器の痛み専門医療者認定試験（からだ・運動器の痛み専門医療者認定試験資格審査委員会）。

日本運動器疼痛学会の行う「からだ・運動器の痛み専門医療者認定試験」の試験資格審査を行う。

5. 研究の奨励および表彰

1) 研究の奨励（優秀論文賞委員会）

日本口腔顔面痛学会誌に投稿された論文の中から、基礎系と臨床系それぞれ優秀論文を一編選出する。優秀論文の筆頭著者に対し、次年度の日本口腔顔面痛学会総会にて記念品と楯を贈呈する。ただし、当該年度に優秀と認められる論文が見当たらない場合は、選出しない場合もある。

2) 優秀ポスター賞（ポスター賞推薦委員会）

第25回学術大会において優秀ポスター賞を選定する。

3) その他

6. 国内交流事業

1) 国内疼痛系学会との交流（理事長）

痛みに関する課題の共有と方策について協議する目的で、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本腰痛学会と設立した「日本痛み関連学会連合」を通じて、国内の疼痛団体と交流する。

2) 神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウム（セミナー企画運営委員会）。

神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムを国内歯科系関連学会と合同で開催する。

3) その他（理事長）

本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医歯学・医療関係団体との協力、協議を行う。

7. 国際交流事業（国際交流委員会）

1) 国際疼痛学会（International Association for the study of Pain: IASP）および Special Interest Group of Orofacial Pain (SIG of OFP)との交流。

2) アメリカ口腔顔面痛学会（American Academy of Orofacial Pain: AAOP）との交流。

3) アジア頭蓋下顎機能障害学会（Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders: AAOT）との交流。2019年10月19日、20日にフィリピンのマニラで開催され

る学術大会への参加。

- 4) 国際歯科研究学会 (International Association for Dental Research) の神経科学グループ (Neuroscience Group) および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INfORM)との交流。
- 5) その他

8. 歯科医療の向上のための事業

- 1) 診療ガイドライン (ガイドライン作成委員会)
非歯原性歯痛の診療ガイドライン改訂、非歯原性歯痛の診療ガイドラインの GRADE 版作成、口腔顔面痛に対する運動療法の GRADE 版診療ガイドライン作成を行う。
- 2) 口腔顔面痛教育シラバス (シラバス委員会)
口腔顔面痛教育シラバス (2016 年度策定) の改訂を行う。
- 3) 口腔顔面痛教育指針 (シラバス委員会)
口腔顔面痛教育指針 (卒前、研修医、認定医、専門医) 策定の検討を行う。
- 4) 社会保険 (医療保険委員会)
 - ①令和 2 (2020) 年度診療報酬改定に向けて、現在、医療技術評価提案書として申請準備をしている「三叉神経ニューロパチーを歯科特定疾患療養管理料の対象疾患として含める」件について、採択されるように関係機関への説明を含め、準備を進める。
 - ②前年度から準備をしているデュロキセチン (商品名サインバルタカプセル) の「三叉神経ニューロパチー」への適応拡大につき、令和 2 (2020) 年度診療報酬改定に向けて、さらに準備を進める。
 - ③令和 4 (2022) 年度診療報酬改定に向けて、認知行動療法を始めとして保険収載候補、適用拡大候補を選定し準備を開始する。
 - ④口腔顔面痛医療の健康へ果たす役割に関する学術的根拠の収集、蓄積と医療技術評価提案書の作成、およびこれらをわが国の歯科医療制度・政策へ反映させるための提言を行う。
- 5) 医療問題関連の活動 (理事長)
種々の医療問題に関する見解の取りまとめと解決を行う。
- 6) 会員の資質向上
会員のための e-learning の開発を行う (学術委員会 e-learning 検討部会)。
- 7) 臨床研究 (学術委員会臨床研究検討部会)
口腔顔面痛疾患の臨床統計や診断基準の検討を行うための臨床統計を実施する。
- 8) 会員の倫理向上 (倫理委員会)
倫理・懲戒に関する規則の違反行為者の調査を行う。
- 9) 会員の利益相反 (利益相反委員会)
会員に対する利益相反の啓発活動を行う。
- 10) 「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」 (学会誌編集委員会)
- 11) その他

9. 広報事業（広報委員会）

- 1) ホームページおよびメーリングリスト、ニュースレターでの情報開示を推進する。
- 2) 口腔顔面痛学会および口腔・顔面領域の疼痛疾患に関する医療の、医療関係者および国民への周知徹底のための諸施策の実施を行う。
- 3) 会員へのアンケートを実施する。
- 4) ホームページの管理業務における運営体制の検討をする。
- 5) その他

10. 会議の開催

1) 常任理事会（総務担当理事）

緊急案件、その他を審議するため、理事長、常務理事で構成される常任理事会を適時、開催する（インターネット開催を含む）。

2) 理事会（総務担当理事）

定款に基づき、第1回理事会を2020年8月末までに、また第2回理事会を2020年12月末までに開催し、さらに必要に応じて適時、臨時開催する（インターネット開催を含む）。

3) 社員総会（総務担当理事）

定款に基づき、社員総会を2020年12月末までに開催し、さらに必要があれば臨時開催する。

4) 各委員会

本学会が目的とする事業を達成するため、各委員会を開催する（インターネット開催を含む）。

5) その他

11. 本学会の社会的地位向上のための活動（理事長）

1) 専門分科会

日本歯科医学会専門分科会に申請できるように準備を進める。

2) その他

12. その他

目的達成のために必要と認められる事業を行う。

以上